



HS1100 ユーザーマニュアル

2026 年 06 月 22 日

目次

1 システム設定	3
1.1 入出力設定	3
1.2 共通機能	7
2 インターフェース設定	7
2.1 インターフェースの種類	7
3 データ編集	11
3.1 導入	11
3.2 プレフィックス/サフィックスの付加	12
3.3 すべてのコードシステムにキャリッジリターンサフィックスを追加する	14
3.4 すべてのエンコーディングシステムに改行サフィックスを追加する	14
3.5 すべてのコードシステムにキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスを追加します。	15
3.6 キーボード操作	15
3.7 プレフィックス/サフィックスのクリア	16
3.8 機能コード送信	17
3.9 バーコードの送信遅延	18
4 バーコード設定	18
4.1 コーディングシステム	18
5 付録	67
5.1 1次元コーディングシステム	67
5.2 QR コードシステム	69
5.3 郵便番号	69
5.4 ASCII 変換表	69
5.5 バーコードの例	72
5.6 付録チャート	77
5.7 キーボード操作 ASCII 変換	80

1 システム設定

1.1 入出力設定

導入

この章では、コード読み取りデバイスの電源がオンになり、デコードされ、ボタンがトリガーされたときのブザーと LED の設定を主に紹介します。

電源投入時プロンプトトーン設定

電源投入プロンプト音、つまり、コード読み取り装置の電源が正常に投入された後、動作状態に入るように促すブザーを鳴らすことができます。シーンのニーズに応じて、プロンプト音を鳴らさないように設定することもできます。デフォルト値 = 電源が正常にオンになるとプロンプト音が鳴ります。



電源投入に成功してもビープ音が鳴らない



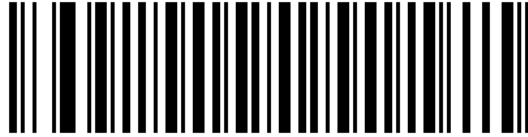
* 電源が正常にオンになると、プロンプト音が鳴ります。

トリガーデコードサウンド設定

デコードスイッチをトリガーした後、デコードされたかどうかに関係なく、コード読み取りデバイスはスイッチがトリガーされたことを示すトーンを発することができます。デフォルト値 = デコードスイッチをトリガーするときにビープ音を鳴らさない



* デコードスイッチをトリガーするときにビープ音が鳴らない



デコードスイッチをトリガーすると音が鳴ります。

デコード成功後のプロンプトトーンの設定

デコード成功プロンプトトーン応答設定

デコードが成功すると、デコードが成功したことを示すブザーが鳴ります。プロンプトサウンドが必要ない場合は、デコードが成功した後にプロンプトサウンドを鳴らさないように設定できます。デフォルト値＝デコード成功後のプロンプト音。



デコード成功後にビープ音が鳴らない



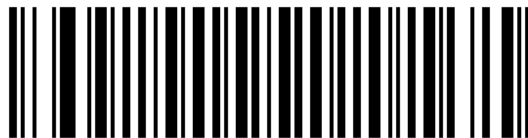
* デコードが成功すると、プロンプト音が鳴ります。

デコード成功音量設定

デコードが成功した後に次のバーコードをスキャンして、コード読み取りデバイスのビープ音の音量を変更します。デフォルト＝高。



低い



真ん中



* 高い



無効にする

デコード成功プロンプトトーン周波数設定

次のバーコードをスキャンして、デコードが成功した後にコード読み取りデバイスのビープ音の周波数を変更します。デフォルト値は中です。



* 中 (2400 Hz)



低 (1600Hz)



高 (4200Hz)

デコード成功プロンプト音の長さの設定

次のバーコードをスキャンして、デコードが成功した後のコード読み取りデバイスのビープ音の長さを変更します。デフォルト = 通常。



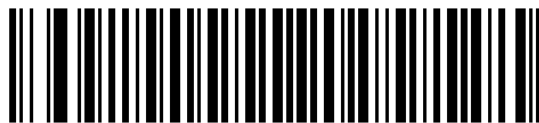
* 通常のビープ音



短いビープ音

デコード失敗プロンプトトーン周波数設定

次のバーコードをスキャンして、デコード失敗後のコード読み取りデバイスのビーブ音の周波数を変更します。デフォルト = ラズ。



* ラズ (250 Hz)



中 (3250Hz)



高 (4200Hz)

コード読み取り遅延

次のバーコードをスキャンして、バーコード読み取りデバイスが1つのバーコードを読み取ってから次のバーコードを読み取るまでの時間間隔を設定します。デフォルト値 = 750 ms。



遅延なし



* 短い遅延 (750 ミリ秒)



中遅延 (1,000 ミリ秒)



ロングディレイ (1,500ms)

1.2 共通機能

工場出荷時のデフォルト設定

コード読み取りデバイスにデフォルト設定を適用する場合は、以下の「工場出荷時のデフォルト設定のロード」バーコードをスキャンして、コード読み取りデバイスを工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。



工場出荷時のデフォルト設定をロードする

ファームウェアバージョン表示

次のバーコードをスキャンすると、現在のファームウェアのバージョン、ユニットのシリアル番号、その他の製品情報が出力されます。



バージョン情報を表示する

2 インターフェース設定

2.1 インターフェースの種類

導入

この章では、2つのインターフェイスタイプ USB および RS232 を紹介し、それらに関連する構成をリストします。

RS232

RS232 インターフェイスに接続するには、「RS232」バーコードをスキャンする必要があります。デフォルトのシリアルポート関連の設定は、115200 ボーレート、8 データビット、チェックビットなし、1 ストップビットで、キャリッジリターンとラインフィードがデフォルトで追加されます。



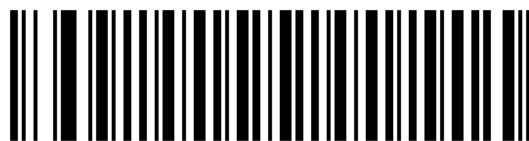
RS232

RS232 ボーレート

ボーレートは、指定されたレートでコード読み取りデバイスからホストにデータを送信します。通常の通信では、ホストはコード読み取りデバイスと同じボーレートに設定する必要があります。デフォルト = 115200。



300



600



1200



2400



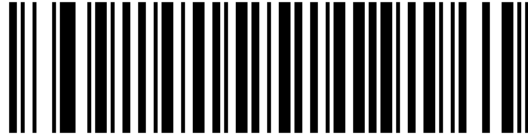
4800



9600



19200



38400



57,600



* 115,200

RS232 ワード長: データビット、ストップビット、パリティ

データビット: 7 または 8 データビットの送信を選択できます。通常の通信では、ホストはコード読み取りデバイスと同じデータビットに設定する必要があります。デフォルト = 8。

ストップビット: ストップビットは 1 または 2 に設定できます。通常の通信では、ホストはコード読み取りデバイスと同じストップビットに設定する必要があります。デフォルト = 1。

パリティチェック: 文字のビットパターンをチェックする方法。通常の通信では、ホストはコード読み取りデバイスと同じパリティビットに設定する必要があります。デフォルト = なし。



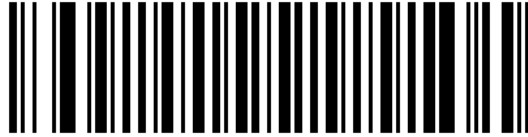
7 データビット、1 ストップキャラクタ、偶数パリティビット



7 データビット、1 ストップキャラクタ、パリティビットなし



7 データビット、1 ストップキャラクタ、奇数パリティビット



7 データビット、2 ストップキャラクタ、偶数パリティビット



7 データビット、2 ストップキャラクタ、パリティなし



8 データビット、1 ストップキャラクタ、偶数パリティビット



8 データビット、1 ストップキャラクタ、奇数パリティビット



7 データビット、2 ストップキャラクタ、奇数パリティビット

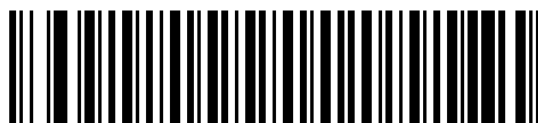


* 8 データビット、1 ストップキャラクタ、パリティビットなし

USB

USB PC

次のバーコードをスキャンして、コード読み取りデバイスを USB PC キーボードモードに設定します。キャリッジリターンとラインフィードはデフォルトで追加されます。



USB Keyboard (PC)

USB COM

次のバーコードをスキャンして、コード読み取りデバイスを USB COM モードに設定し、RS232 に基づいて通常の COM ポートをシミュレートします。Microsoft® Windows® PC をご使用の場合は、ドライバーをダウンロードする必要があります。Apple® Macintosh を使用している場合、コンピュータはコード読み取りデバイスを USB CDC タイプのデバイスとして認識します。



USB COM

i 注釈

追加の構成 (ボーレートなど) は必要ありません。

3 データ編集

3.1 導入

コード読み取りデバイスが正常にデコードすると、データの文字列が取得されます。このデータ列には、数字、英語、記号などが使用でき、QR コードの場合は漢字も使用できます。このデータ列がバーコードに含まれるデータ情報です。実際のアプリケーションでは、バーコードのデータ情報が必要なだけでなく、取得したデータ情報の文字列がどのタイプのバーコードからのものであるかを知る必要がある場合や、バーコード情報がスキャンされた日を知る必要がある場合、またはバーコードの読み取り後にバーコードのテキストを自動的に折り返して入力する必要がある場合があります。これらの要件は、バーコードのデータ情報に含まれない場合があります。

コーディング時にこれらの内容を追加すると、必然的にバーコードデータの長さが長くなり、柔軟性に欠けます。バーコードデータ情報の前後に人為的に内容を追加し、必要に応じて追加内容をリアルタイムに変更したり、追加するかブロックするかを選択できます。バーコードデータ情報のサフィックスです。サフィックスやサフィックスを追加することで、バーコード情報の内容を変更することなく要件を満たします。

- 1つのコードシステムまたはすべてのコードシステムに対してプレフィックスまたはサフィックス文字を追加または削除できます。
- [ASCII 変換表](#) を使用してプレフィックスまたはサフィックスを追加します
- 出力に表示される順序でプレフィックスまたはサフィックス文字を追加します。
- 特定のコードシステム (またはすべてのコードシステム) を設定する場合、特定のバーコードタイプのシリアル番号に対応するコードシステムにプレフィックスまたはサフィックス文字を追加します。
- プレフィックスまたはサフィックス構成の最大サイズは 200 文字です。

3.2 プレフィックス/サフィックスの付加

1. 「プレフィックスの追加」または「サフィックスの追加」バーコードをスキャンします。
2. プレフィックスまたはサフィックスを追加するコードシステムを決定し、1次元コーディングシステム から2桁の16進値を決定します。たとえば、コード11の場合、バーコードタイプのシリアル番号は「h」、16進数IDは68です。
3. 付録チャート の2つの16進数をスキャンするか、9、9をスキャンします。すべてのコード体系に適用されます。
4. ASCII変換表 からプレフィックス/サフィックスの16進値を決定します。
5. 付録チャート の2桁の16進値をスキャンします。
6. プレフィックス/サフィックス文字ごとに手順4と5を繰り返します。
7. バーコードシリアル番号を追加するには、5、C、8、0をスキャンしてください。

AIM IDを追加するには、5、C、8、1をスキャンします。

バックスラッシュ () を追加するには、5、C、5、Cをスキャンします。

注釈

手順7でバックスラッシュ () を追加するには、5Cを2回スキャンする必要があります。1回目は先頭のバックスラッシュを作成し、次にバックスラッシュ自体を作成します。

8. 「保存」バーコードをスキャンして終了して保存するか、「破棄」バーコードをスキャンして保存せずに終了します。手順1～6を繰り返して、他のコードシステムにプレフィックスまたはサフィックスを追加します。



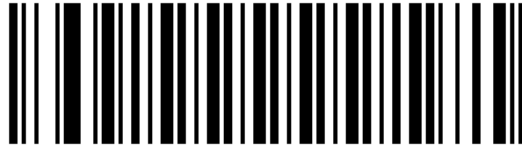
プレフィックスを追加する



接尾語を追加



保存



あきらめる

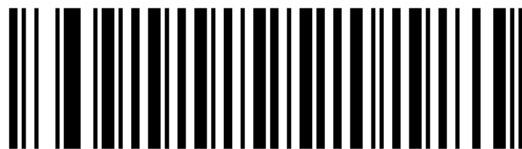
i 例

特定のコードシステムにサフィックスを追加する

CR (復帰) サフィックスを Code 128 に追加します。

ステップ:

1. 「サフィックスの追加」バーコードをスキャンします。
2. 1次元コーディングシステム から Code 128 の 2 桁の 16 進値を決定します: 6A。
3. 付録チャート から「6」、「A」バーコードをスキャンします。
4. ASCII 変換表 から復帰サフィックスの 16 進値を決定します: 0D。
5. 付録チャート の「0」および「D」バーコードをスキャンします。
6. 「保存」バーコードをスキャンするか、「破棄」バーコードをスキャンして保存せずに終了します。



接尾語を追加



6



A



0



D



保存

3.3 すべてのコードシステムにキャリッジリターンサフィックスを追加する

すべてのシンボルにキャリッジリターンサフィックスを追加するには、次のバーコードをスキャンしてください。この操作では、まず現在のサフィックスをすべてクリアしてから、すべてのコードシステムにキャリッジリターンサフィックスを追加します。



すべてのコードシステムにキャリッジリターンサフィックスを追加する

3.4 すべてのエンコーディングシステムに改行サフィックスを追加する

すべてのコードシステムにキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスを追加するには、次のバーコードをスキャンしてください。この操作では、まず現在のサフィックスをすべてクリアし、次にキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスをすべてのコードシステムに追加します。



すべてのエンコーディングに改行サフィックスを追加する

3.5 すべてのコードシステムにキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスを追加します。

すべてのコードシステムにキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスを追加するには、次のバーコードをスキャンしてください。この操作では、まず現在のサフィックスをすべてクリアし、次にキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスをすべてのコードシステムに追加します。



すべてのコードシステムにキャリッジリターンとラインフィードのサフィックスを追加します。

3.6 キーボード操作

出力のデコード後に自動保存を実行するなど、出力のデコード時にさまざまな操作を実行するようにキーボードを構成できます。

1. キーボード操作 **ASCII 変換** から実行するキーボード操作に対応する 16 進数 2 桁の値を求め、設定が必要なコード系の 16 進数 2 桁の値を求めます。
2. まず、「キーボードアクションの追加」バーコードをスキャンします。
3. 次に、キーボード操作とバーコード出力の順序を決定します。キーボード操作が先にある場合は、「プレフィックスの追加」バーコードをスキャンします。キーボード操作が続く場合は、「サフィックスの追加」バーコードをスキャンします。
4. 対応する値 (コードシステムおよび対応するキーボード操作を含む) に従って、**付録チャート** の対応する 4 桁の 16 進値をスキャンします。
5. 「保存」バーコードをスキャンします。
6. 「キーボードアクションの追加の終了」をスキャンします。



キーボードアクションの追加を開始する



キーボード操作の追加を終了

i 例

すべてのコード体系の出力をデコードした後に保存する操作を追加

まず、実行する操作を確認します。バーコードが出力された後に保存する、つまり、出力されたバーコードの後に サフィックスを追加します。次に、付録の表に従って、対応する 16

進値を決定します。すべてのコード体系は「9」と「9」に対応し、保存操作は「1」と「3」に対応します。

確認後、「キーボード操作の追加」バーコード、「サフィックスの追加」バーコード、「9」をスキャンします。

「9」、「1」、「3」、最後に「保存」バーコードをスキャンします。

(このうち、「9」と「9」はすべてのコード体系に対応し、「1」と「3」は保存前のデコードと出力に対応します)

3.7 プレフィックス/サフィックスのクリア

コード体系のプレフィックス/サフィックスをクリアできます。コードシステムのプレフィックス/サフィックスが追加されている場合は、スキャンできます。

「シンボルのプレフィックス/サフィックスをクリア」バーコードは、このシンボルからすべてのプレフィックス/サフィックス文字を削除します。すべてのコードシステムプレフィックス/サフィックスを削除するには、「すべてのコードシステムプレフィックス/サフィックスをクリア」をスキャンします。

1. 「シンボルのプレフィックスをクリア」または「シンボルのサフィックスをクリア」バーコードをスキャンします。
2. プレフィックス/サフィックスのエンコーディングをクリアするには、1次元コーディングシステムから2桁の16進数値を決定します。
3. 付録チャートの2桁の16進数値をスキャンします。たとえば、「9」をスキャンすると、「9」バーコードはすべてのコードシステムに適用されます。
4. 「保存」バーコードをスキャンします。



コード体系のプレフィックスをクリアします



コード体系のサフィックスをクリアします



保存

プレフィックスの選択



プレフィックスを追加する



すべてのコードプレフィックスをクリアする



コード体系のプレフィックスをクリアします

サフィックスの選択



接尾語を追加



すべてのコードサフィックスをクリアする



コード体系のサフィックスをクリアします

3.8 機能コード送信

ファンクションコード送信が有効で、出力データにファンクションコードが含まれている場合、コード読み取りデバイスはファンクションコードデータをホストに送信します。デフォルト = 無効。



* 無効にする



有効にする

3.9 バーコードの送信遅延

バーコードが送信されるたびに、最大 5000 ms (5 ms 単位) の遅延を設定できます。次のバーコードをスキャンし、遅延数量の付録チャート 5 ms をスキャンしてから、「保存」バーコードをスキャンします。



バーコードの遅延

バーコードの送信遅延をなくすには、「バーコード遅延」バーコードをスキャンし、遅延番号を 0 に設定します。付録チャートを使用して、「保存」バーコードをスキャンします。

例

バーコードを送信するための 100 ms 遅延を設定します。

最初に「バーコード遅延」をスキャンし、次に付録チャート「2」「0」($100 \text{ ms} / 5 \text{ ms} = 20$) をスキャンし、次に「保存」バーコードをスキャンして、100 ms の送信バーコード遅延を設定します。

4 バーコード設定

4.1 コーディングシステム

すべてのコード体系

コード読み取りデバイスですべてのシンボルを読み取る必要がある場合は、「すべてのシンボルが有効」バーコードをスキャンしてください。特定のシンボルのみを読み取るには、「すべてのシンボルが無効」バーコードをスキャンしてから、その特定のシンボルの有効化バーコードをスキャンしてください。



すべてのエンコードが有効になっています



すべてのエンコーディングが無効になっています

i 注釈

「すべてのシンボルが有効」バーコードをスキャンした後、2D 郵便番号はデフォルトでは有効になりません。2D 郵便番号は別途有効にする必要があります。

読み取り長の説明

特定のコード体系の有効読み取り長を設定できます。読み取ったバーコードデータの長さが有効読み取り長と一致しない場合、コード読み取り装置はエラー音を発します。最小長と最大長を同じ値に設定すると、バーコード読み取りデバイスは固定長のバーコードを強制的に読み取るようになります。これにより、読み間違いを減らすことができます。

i 例

長さが 6 ～10 文字のバーコードのみが読み取られます。

最小の長さ = 06。最大長 = 10

1. コードシステムを選択して最大読み取り長と最小読み取り長を設定し、そのディレクトリの下にある「最小読み取り長」バーコードをスキャンし、数値の「6」バーコードと付録チャートの「保存」バーコードをスキャンします。
2. 「最大読み取り長」バーコードをスキャンし、付録チャート、「0」からの数字「1」、および「保存」バーコードをスキャンします。

上記の手順により、選択したコードシステムの最大読み取り長が 10 に設定され、最小読み取り長が 6 に設定されます。

1 次元コーディングシステム

コード読み取りデバイスですべての 1D バーコードを読み取る必要がある場合は、「すべての 1D バーコードが有効」バーコードをスキャンしてください。特定のコードシステムのみを読み取ることができます。「すべての 1D コードシステムが無効」バーコードをスキャンしてください。



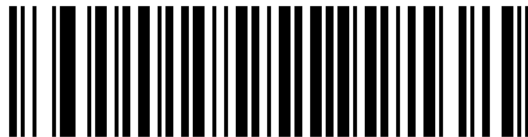
* すべての 1D シンボルが有効になりました



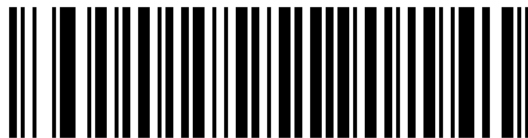
すべての 1 次元コードシステムを無効にする

QR コードシステム

コード読み取りデバイスですべてのバーコードシステムを読み取る必要がある場合は、「すべての QR コードシステムが有効」バーコードをスキャンしてください。特定のコードシステムのみを読み取ることができます。「すべての QR コードシステムが無効」バーコードをスキャンしてください。



* すべての QR コードシステムが有効になっています



すべての QR コードが無効になっています

Codabar

注釈

すべての Codabar 設定をデフォルトに設定する



Codabar のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

スタート/ストップキャラクター

「スタート/ストップ」文字出力はバーコードの先頭と末尾に配置されます。スタート/ストップキャラクターを送信するかどうかを設定可能。デフォルト = 送信なし。



伝染; 感染



* 送信しないでください

チェックキャラクター

チェックキャラクターなしとは、バーコード読み取りデバイスがチェックキャラクターの有無にかかわらずすべてのバーコードを読み取り、送信することを意味します。(このときチェックキャラクター付きのバーコードを読み取る場合は、チェックキャラクターも一緒に送信されます)

「チェックキャラクター」を「有効、チェックキャラクターを送信しない」に設定すると、コード読み取り装置はバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証に合格すると、最後のチェックキャラクターを除いた通常データが送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。

「チェックキャラクター」が「有効、チェックキャラクターを送信する」に設定されている場合、コード読み取り装置はバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証が成功すると、チェックキャラクターが通常データの最後の桁とともに送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。



* チェック文字なし



有効、チェックキャラクタを送信しない



有効化、チェックキャラクタの送信

カスケード

Codabar はバーコードの連結をサポートしています。カスケードが有効な場合、バーコード読み取りデバイスは、「D」ストップキャラクターを持つバーコードに隣接する「D」スタートキャラクターを持つ Codabar バーコードを探します。この場合、2つのバーコードは1つに連結され、すべての「D」文字が省略されます。

A 1 2 3 4 D D 5 6 7 8 A

「Require」バーコードをスキャンして、コード読み取りデバイスが「D」文字で始まる隣接する Codabar バーコードなしで単一の「D」Codabar バーコードをデコードしないようにします。この選択は、ストップ/スタート D 文字のない Codabar には影響しません。



有効にする



必要



* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 2～60 です。最小デフォルト値 = 4、最大デフォルト値 = 60。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Code 39

有効化/無効化



* 有効にする

注釈

デフォルトの Code 39 構成



Code 39 のデフォルト設定を復元する



無効にする

スタート/ストップキャラクター

「スタート/ストップキャラクター」はバーコードの最初と最後にあります。「スタート/ストップキャラクター」を送信する/送信しないを設定可能。デフォルト = 送信なし。



伝染; 感染



* 送信しないでください

チェックキャラクター

チェックキャラクターなしとは、バーコード読み取りデバイスがチェックキャラクターの有無にかかわらずすべてのバーコードを読み取り、送信することを意味します。(このときチェックキャラクター付きのバーコードを読み取る場合は、チェックキャラクターも一緒に送信されます)

「チェックキャラクター」を「有効、チェックキャラクターを送信しない」に設定すると、コード読み取り装置はバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証に合格すると、最後のチェックキャラクターを除いた通常のコピーが送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。

「チェックキャラクター」が「有効、チェックキャラクターを送信する」に設定されている場合、コード読み取り装置はバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証が成功すると、チェックキャラクターが通常データの最後の桁とともに送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。



* チェック文字なし



有効、チェックキャラクターを送信しない



有効化、チェックキャラクターの送信

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 0～48 です。最小デフォルト値 = 0、最大デフォルト値 = 48。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Code 32 Pharmaceutical (PARAF)

コード 32 医薬品は、イタリアの薬局で使用される Code 39 バーコードの形式です。Code 32 を構成する場合は、まず Code 39 を有効にしてから構成する必要があります。

このエンコーディングは PARAF とも呼ばれます。



有効にする



* 無効にする

FULL ASCII

Code 39 Full ASCII デコードが有効な場合、バーコード内の一部の文字は単一の文字にデコードされます。

例

\$V は、ASCII 文字 SYN にデコードされ、/C は、ASCII 文字 # にデコードされます。デフォルト = 無効。

NUL%U	DLE\$P	SP SPACE	0 /P	@%V	P P	' %W	p +P
ソーサ	DC1 \$Q	!/A	1 /Q	A A	Q Q	a +A	q +Q
STX\$B	DC2 \$R	"/B	2 /R	B B	R R	b +B	r +R
ETX \$C	DC3 \$S	# /C	3 /S	C C	S S	c +C	s +S
EOT \$D	DC4 \$T	\$ /D	4 /T	D D	T T	d +D	t +T
ENQ \$E	NAK \$U	% /E	5 /U	E E	U U	e +E	u +U
確認 \$F	SYN\$V	& /F	6 /V	F F	V V	f +F	v +V
ベル \$G	ETB \$W	' /G	7 /W	G G	W W	g +G	w +W
BS\$H	CAN\$X	(/H	8 /X	H H	X X	h +H	x +X
HT \$I	EM \$Y	) /私	9 /Y	I I	Y Y	i +I	y +Y
LF \$J	サブ \$Z	* /J	: /Z	J J	Z Z	j +J	z +Z
VT\$K	ESC %A	+ /K	; %F	K K	[%K	k +K	{ %P
FF\$L	FS %B	, /L	< %G	L L	\ %L	l +L	%Q
CR \$M	GS %C	- /M	= %H	M M	] %M	m +M	} %R
とても	RS %D	. /N	> %I	N N	^ %N	n +N	~ %S
シソ	US %E	/ /O	? %J	O O	_ %O	o +O	DEL %T

文字ペア /M と /N は、それぞれマイナス記号とピリオドとしてデコードされます。/P ~ /Y の文字ペアは 0 ~ 9 としてデコードされます。



フル ASCII を有効にする



* フル ASCII が無効になりました

Interleaved 2 of 5

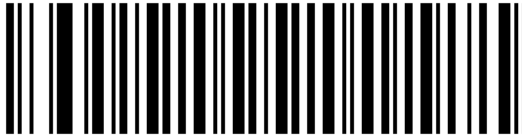
注釈

すべての Interleaved 2 of 5 設定をデフォルトに設定する

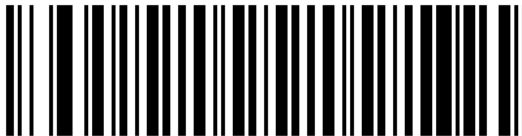


Interleaved 2 of 5 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

チェックキャラクター

チェックキャラクターなしとは、バーコード読み取りデバイスがチェックキャラクターの有無にかかわらずすべてのバーコードを読み取り、送信することを意味します。(このときチェックキャラクター付きのバーコードを読み取る場合は、チェックキャラクターも一緒に送信されます)

「チェックキャラクター」を「有効、チェックキャラクターを送信しない」に設定すると、コード読み取り装置はバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証に合格すると、最後のチェックキャラクターを除いた通常データが送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。

「チェックキャラクター」が「有効、チェックキャラクターを送信する」に設定されている場合、コード読み取り装置はバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証が成功すると、チェックキャラクターが通常データの最後の桁とともに送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。



* チェック文字なし



有効、チェックキャラクターを送信しない



有効化、チェックキャラクタの送信

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は2～80です。最小デフォルト値=4、最大デフォルト値=80。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

NEC 2of5

有効化/無効化

注釈

すべての NEC 2 of 5 設定をデフォルトに設定する



NEC 2 of 5 のデフォルト設定を復元する



* 有効にする



無効にする

チェックキャラクター

チェックキャラクターなしとは、バーコード読み取りデバイスがチェックキャラクターの有無にかかわらずすべてのバーコードを読み取り、送信することを意味します。(このときチェックキャラクター付きのバーコードを読み取る場合は、チェックキャラクターも一緒に送信されます)

「チェックキャラクター」を「有効、チェックキャラクターを送信しない」に設定すると、コード読み取り装置はバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証に合格すると、最後のチェックキャラクターを除いた通常のデータが送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。

「チェックキャラクター」が「有効、チェックキャラクターを送信する」に設定されている場合、コード読み取り装置はバーコードの最後の桁に基づいて検証を行います。検証が成功すると、チェックキャラクターが通常データの最後の桁とともに送信されます。検証が失敗した場合、バーコードの内容は送信されません。



* チェック文字なし



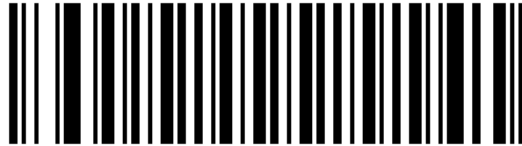
有効、チェックキャラクターを送信しない



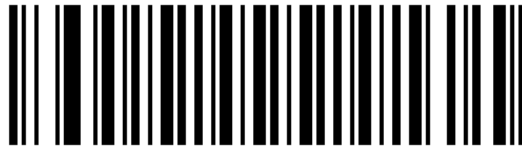
有効化、チェックキャラクターの送信

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は2～80です。最小デフォルト値=4、最大デフォルト値=80。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Code 93

注釈

すべての Code 93 設定をデフォルトに設定する



Code 93 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

読み取り長さ

バーコードをスキャンして、読み取り長を変更します。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 0 ～80 です。最小デフォルト値 = 0、最大デフォルト値 = 80。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#) を参照してください)



最小読み取り長

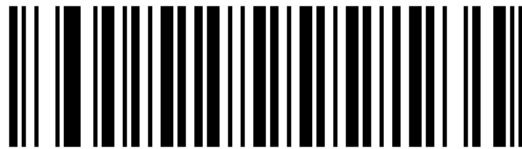


最大読み取り長

Straight 2 of 5 Industrial (three-bar start/stop)

注釈

ストレート 2/5 工業用デフォルト設定の復元



ストレート 2/5 工業用デフォルト設定の復元

有効化/無効化



有効にする



* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～48です。最小デフォルト値＝4、最大デフォルト値＝48。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長

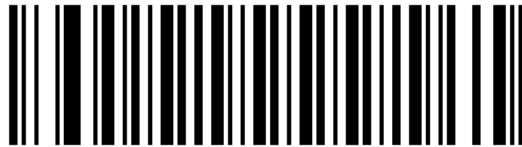


最大読み取り長

Straight 2 of 5 IATA (two-bar start/stop)

注釈

Straight 2 of 5 IATA のデフォルト設定を復元する

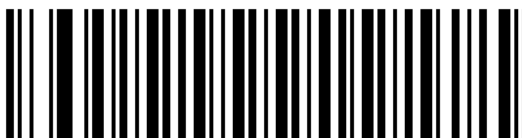


Straight 2 of 5 IATA のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



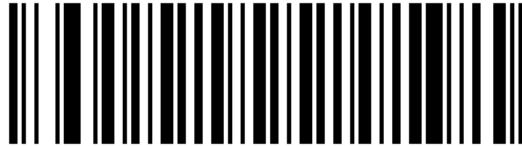
有効にする



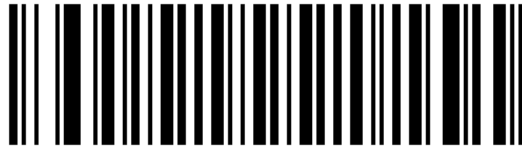
* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～48です。最小デフォルト値＝4、最大デフォルト値＝48。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Matrix 2 of 5

注釈

すべての Matrix 2 of 5 設定がデフォルトになります



マトリックス 2/5 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



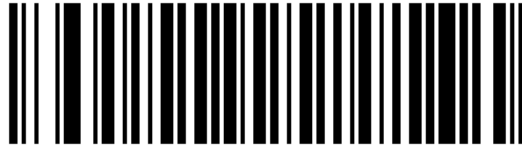
有効にする



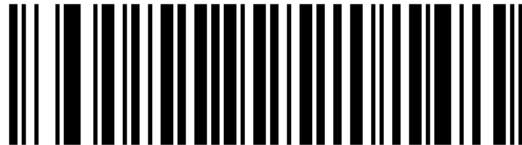
* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 1～80 です。最小デフォルト値 = 4、最大デフォルト値 = 80。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



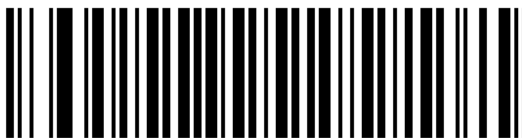
最大読み取り長

チェック

このオプションは、Matrix 2 of 5 コード検証機能の有効化と無効化を設定します。



検証を有効にする



* 検証を無効にする

Code 11

注釈

すべての設定をデフォルトにする



Code 11 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



有効にする



* 無効にする

チェックデジット

このオプションは、Code 11 バーコードに1つまたは2つのチェックデジットを設定します。デフォルト=2つのチェックデジット。



チェックデジット



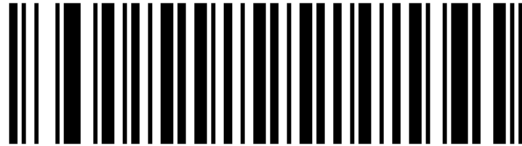
* 2つのチェックデジット

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～80です。最小デフォルト値=4、最大デフォルト値=80。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Code 128

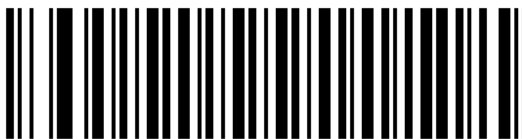
注釈

すべての Code 128 設定をデフォルトに設定する



Code 128 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

ISBT 128 カスケード



ISBT 128 が有効になっています



* ISBT 128 が無効になっています

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 0 ～ 80 です。最小デフォルト値 = 0、最大デフォルト値 = 80。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



* 最大読み取り長

GS1-128

注釈

すべての GS1-128 設定をデフォルトに設定する



GS1-128 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～80です。最小デフォルト値=1、最大デフォルト値=80。(注:「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

UPC-A

注釈

すべての UPC-A 設定をデフォルトに設定する



UPC-A のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

チェックデジット

以下は、出力データの最後にチェックデジットを送信するかどうかを設定します。デフォルト = 有効。



* 有効にする



無効にする

デジタルシステム

UPC 数値システム文字は通常、出力データの先頭で送信されます (デフォルト = 有効)。



* 有効にする



無効にする

追加コード

この設定により、読み取られたすべての UPC-A データの末尾に 2 桁または 5 桁の追加コードが追加されます。

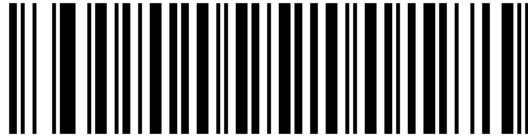
デフォルト = 2/5 桁のアドオンコードは無効です。



2 桁のアドオンコードが有効です



* 2 桁の付録は無効です



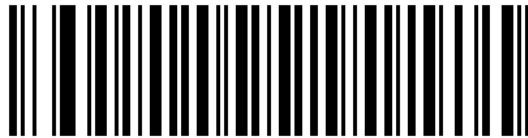
5 桁のアドオンコードが有効です



* 5 桁の付録は無効です

必要なアドオンコード

「必須」をスキャンすると、バーコード読み取りデバイスは追加コードを含む UPC-A バーコードのみを読み取ります。次に、2 桁または 5 桁のアドオンコードを有効にする必要があります。デフォルト = 必要ありません。



必要



* 不要

追加のコード区切り文字

この機能を有効にすると、バーコードと追加コードがスペースで区切られます。無効にすると、スペースの分離は行われません。デフォルト = 有効。



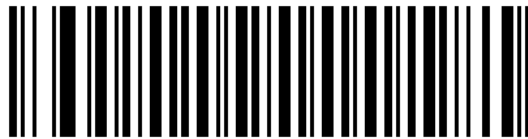
* 有効にする



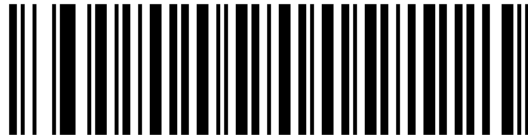
無効にする

i 注釈

次の設定コードを使用して、UPC-A を EAN-13 に変換できます。



回らない

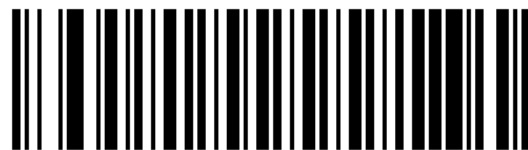


変化

UPC-E0

i 注釈

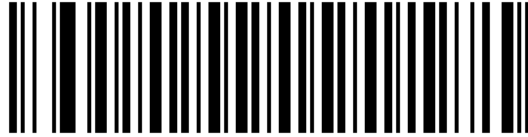
すべての UPC-E 設定をデフォルトに設定する



UPC-E のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化

ほとんどの UPC バーコードは 0 桁システムで始まります。これらのバーコードを読み取るには、「*UPC-E0 Enable」バーコードをスキャンします。1 桁システムでバーコードを読み取る必要がある場合は、「UPC-E1 有効」をスキャンしてください。デフォルト = UPC-E0 が有効です。



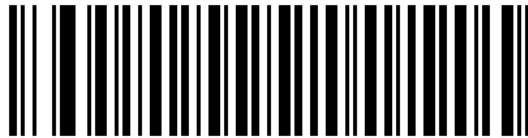
* UPC-E0 が有効になりました



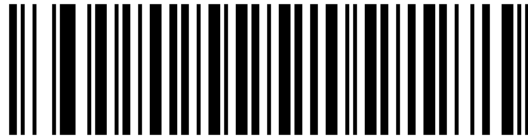
UPC-E0 が無効になっています

バーコード拡張子

UPC-E Expand は、UPC-E バーコードを 12 桁の UPC-A 形式に展開します。デフォルト = 無効。



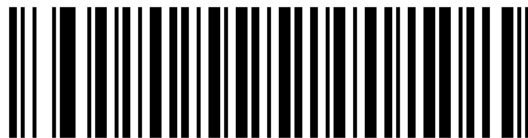
有効にする



* 無効にする

必要なアドオンコード

「必須」をスキャンすると、バーコード読み取りデバイスは追加コードを含む UPC-E バーコードのみを読み取ります。デフォルト = 必要ありません。



必要



* 不要

追加のコード区切り文字

この機能を有効にすると、バーコードと追加コードがスペースで区切られます。無効にすると、スペースの分離は行われません。デフォルト = 有効。



* 有効にする



無効にする

チェックデジット

以下は、出力データの最後にチェックデジットを送信するかどうかを設定します。デフォルト = 有効。



* 有効にする



無効にする

デジタルシステム

UPC の数値システム文字は、通常、出力データの先頭で送信されます。デフォルト = 有効。



* 有効にする



無効にする

追加コード

この設定により、読み取られたすべての UPC-E データの末尾に 2/5 桁の追加コードが追加されます。デフォルト = 2/5 桁のアドオンコードは無効です。



2 桁のアドオンコードが有効です



* 2 桁の付録は無効です



5 桁のアドオンコードが有効です



* 5 桁の付録は無効です

UPC-E1

ほとんどの UPC バーコードは 0 桁システムで始まります。これらのバーコードを読み取るには、「*UPC-E0 Enable」バーコードをスキャンします。1 桁システムでバーコードを読み取る必要がある場合は、「UPC-E1 有効」をスキャンしてください。デフォルト = UPC-E1 は無効です。



UPC-E1 が有効になっています



* UPC-E1 が無効になっています

EAN/JAN-13

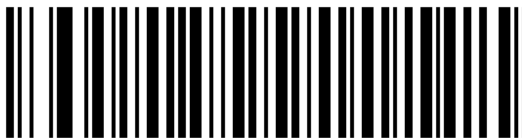
注釈

すべての EAN/JAN 設定をデフォルトにします

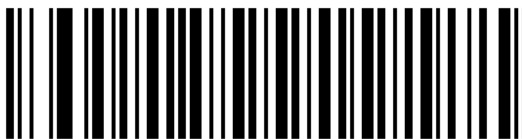


EAN/JAN-13 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

注釈

UPC-A バーコードを EAN-13 形式に変換する場合は、無効化された UPC-A バーコードをスキャンします。

チェックデジット

以下は、出力データの最後にチェックデジットを送信するかどうかを設定します。デフォルト = 有効。



* 有効にする



無効にする

追加コード

この設定では、読み取られたすべての EAN/JAN-13 データの末尾に 2/5 桁の追加コードが追加されます。

デフォルト = 2/5 桁のアドオンコードは無効です。



2 桁のアドオンコードが有効です



* 2 桁の付録は無効です



5 桁のアドオンコードが有効です



* 5 桁の付録は無効です

必要なアドオンコード

「必須」をスキャンすると、コード読み取りデバイスは追加コードを含む EAN/JAN-13 バルコードのみを読み取ります。デフォルト = 必要ありません。



必要



* 不要

追加のコード区切り文字

この機能を有効にすると、バーコードと追加コードがスペースで区切られます。無効にすると、スペースの分離は行われません。デフォルト = 有効。



* 有効にする



無効にする

ISBN Translate

ISBN 表記で送信するように設定すると、EAN-13 ブックランド表記は同等の ISBN 表記形式に変換されます。デフォルト = 無効。



有効にする



* 無効にする

EAN/JAN-8

注釈

すべての EAN/JAN-8 設定をデフォルトにします

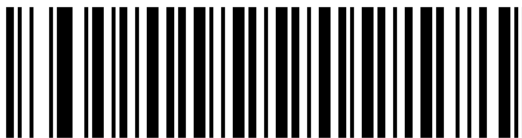


EAN/JAN-8 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

チェックキャラクター

出力データの最後にチェックキャラクターを送信するかどうかを設定します。デフォルト = 有効。



* 有効にする



無効にする

追加コード

この設定では、読み取られたすべての EAN/JAN-13 データの末尾に 2/5 桁の追加コードが追加されます。

デフォルト = 2/5 桁のアドオンコードは無効です



2桁のアドオンコードが有効です



* 2桁の付録は無効です



5桁のアドオンコードが有効です



5桁のアドオンコードが有効です



* 5桁の付録は無効です

必要なアドオンコード

「必須」をスキャンすると、コード読み取りデバイスは追加コードを含む EAN/JAN-8 バーコードのみを読み取ります。デフォルト = 必要ありません。



必要



* 不要

追加のコード区切り文字

この機能を有効にすると、バーコードと追加コードがスペースで区切られます。無効にすると、スペースの分離は行われません。デフォルト = 有効。



* 有効にする



無効にする

MSI

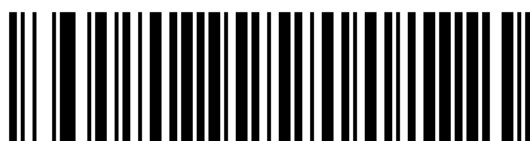
注釈

すべての MSI 設定をデフォルトにします



MSI のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



有効にする



* 無効にする

チェックキャラクター

MSI バーコードは、さまざまな種類のチェック文字を使用します。チェックキャラクターを使用して MSI バーコードを読み取るようにバーコード読み取りデバイスを設定できます。デフォルト = MOD10 は有効ですが、送信されません。

「チェックキャラクター」が「MOD10 を有効にして送信する」に設定されている場合、バーコード読み取りデバイスは、指定された種類のチェックキャラクターが印刷された MSI バーコードのみを読み取って使用し、出力データの最後にキャラクターを送信します。

[チェックキャラクター] が [MOD10 を有効にするが送信しない] に設定されている場合、デバイスは指定されたタイプのチェックキャラクターで印刷された MSI バーコードのみを読み取り、使用しますが、スキャンされたチェックキャラクターは送信しません。



* MOD10 を有効にしますが、送信はしません



MOD10 を有効にして送信する



MSI チェック文字を無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小および最大の長さは 4～48 です。最小デフォルト値 = 4、最大デフォルト値 = 48。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#) を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

GS1 DataBar Omnidirectional

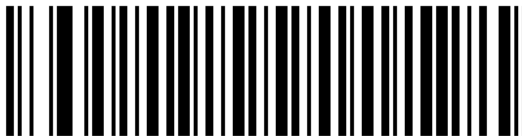
注釈

すべての GS1 DataBar 全方向設定をデフォルトにします



GS1 DataBar 全方向のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

GS1 DataBar Limited

注釈

すべての GS1 DataBar Limited 設定をデフォルトに設定する



GS1 DataBar Limited のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

GS1 DataBar Expanded

注釈

すべての設定をデフォルトにする



GS1 DataBar Expanded のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は4～74です。最小デフォルト値=4、最大デフォルト値=74。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指

定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要もあります。読み取り長の説明を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

PDF417

注釈

すべての PDF417 設定をデフォルトに設定する



PDF417 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



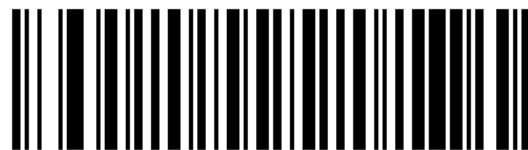
無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～2750 です。最小デフォルト値 = 1、最大デフォルト値 = 2750。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#) を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

QR Code

注釈

すべての QR Code 設定をデフォルトに設定する



QR Code および Micro QR Code のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小および最大の長さは1～7089です。最小デフォルト値=1、最大デフォルト値=7089。(注:「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Data Matrix

注釈

すべての Data Matrix 設定をデフォルトに設定する



Data Matrix のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



* 有効にする



無効にする

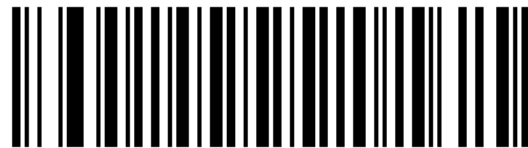
読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小および最大長は1～3116です。最小デフォルト値＝1、最大デフォルト値＝3116。(注:「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最大読み取り長

最小読み取り長

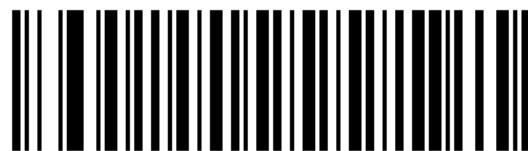


最小読み取り長

Aztec Code

注釈

すべての Aztec コード設定をデフォルトに設定する



Aztec コードのデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



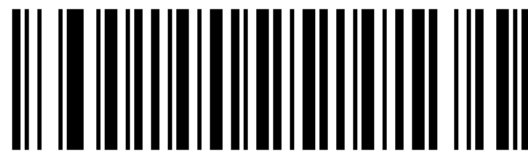
* 有効にする



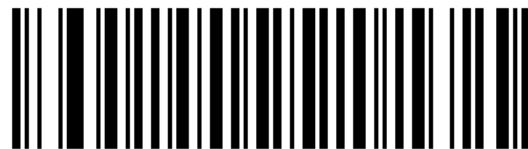
無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小および最大の長さは1～3832です。最小デフォルト値=1、最大デフォルト値=3832。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

China Post (Hong Kong 2 of 5)

注釈

すべての中国郵便 (香港 2/5) 設定がデフォルトになります



中国郵便のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



有効にする



* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は2～80です。最小デフォルト値=4、最大デフォルト値=80。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要もあります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Korea Post

注釈

すべての設定をデフォルトにする



韓国郵便のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



有効にする



* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は2～80です。最小デフォルト値=4、最大デフォルト値=48。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

チェックデジット

次のバーコードをスキャンして、出力データの最後にチェックディジットを送信するかどうかを判断します。デフォルト = 無効。



有効にする



* 無効にする

Han Xin Code

有効化/無効化



有効にする

注釈

Han Xin の設定をすべてデフォルトに設定する



Han Xin コードのデフォルト設定を復元する



* 無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は1～1000です。最小デフォルト値=1、最大デフォルト値=1000。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

MaxiCode

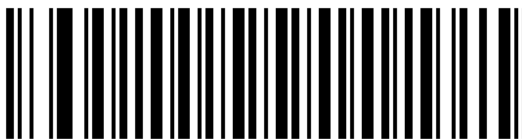
注釈

すべての MaxiCode 設定をデフォルトに設定する

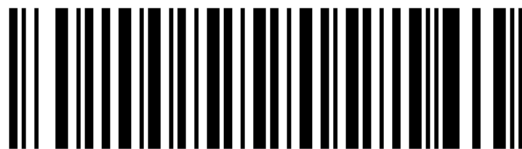


MaxiCode のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 1～150 です。最小デフォルト値 = 1、最大デフォルト値 = 150。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長

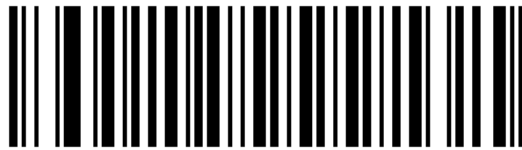


最大読み取り長

Micropdf

注釈

すべての micropdf 設定をデフォルトに設定する



MicroPDF417 のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 1～366 です。最小デフォルト値 = 1、最大デフォルト値 = 366。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#) を参照してください)



最小読み取り長

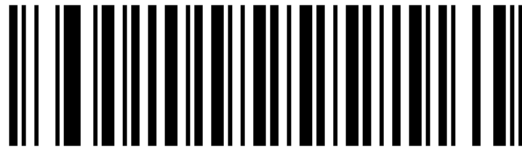


最大読み取り長

GS1 Composite Code

注釈

すべてのコンポジットのデフォルト設定



GS1 複合コードのデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



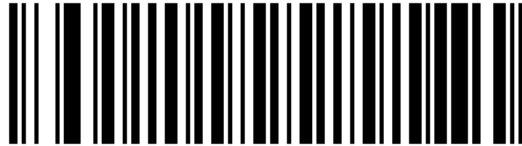
有効にする



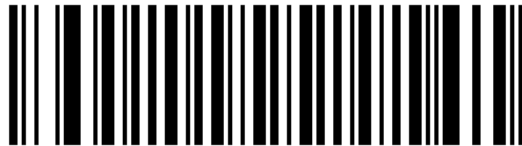
無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小および最大長は1～2435です。最小デフォルト値＝1、最大デフォルト値＝2435。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#)を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

Codablock A

注釈

すべてのコンポジットのデフォルト設定



Codablock A のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



有効にする



無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 1～600 です。最小デフォルト値 = 1、最大デフォルト値 = 600。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#) を参照してください)



最小読み取り長

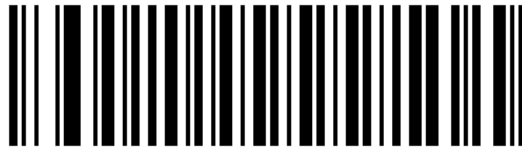


最大読み取り長

Codablock F

注釈

すべてのコンポジットのデフォルト設定



Codablock F のデフォルト設定を復元する

有効化/無効化



有効にする



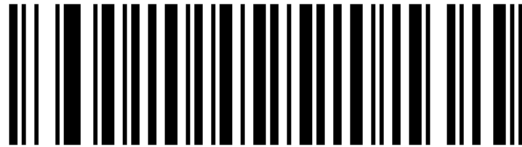
無効にする

読み取り長さ

読み取り長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳細については、「[読み取り長の説明](#)」を参照してください。最小長と最大長は 1 ～ 2048 です。最小デフォルト値 = 1、最大デフォルト値 = 2048。(注: 「最小読み取り長」と「最大読み取り長」をスキャンした後、指定された読み取り長をスキャンしてバーコードを保存する必要があります。[読み取り長の説明](#) を参照してください)



最小読み取り長



最大読み取り長

5 付録

5.1 1次元コーディングシステム

Symbology	AIM	Newtologic	ID	Hex
	ID	可能な修飾子 (m)	ID	Hex
All Symbologies				99
Codabar	]FM	0-1	a	61
Code 11	]H3		h	68
Code 128	]Cm	0, 1, 2, 4	j	6A
Code 32	]X0		<	3C
Pharmaceutical (PARAF)				
Code 39 (supports Full ASCII mode)	]午前	0, 1, 3, 4, 5, 7	b	62
TCIF Linked Code 39 (TLC39)	]L2		T	54
Code 93 and 93i	]ぐむ	0-9, A-Z, a-m	i	69
EAN	]ええと	0, 1, 3, 4	d	64
EAN-13 (including Bookland EAN)	]E0		d	64
EAN-13 with Add-On	]E3		d	64
EAN-13 with Extended Coupon Code	]E3		d	64
EAN-8	]E4		D	44

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

Symbology	AIM	Newtologic		
EAN-8 with Add-On	]E3		D	44
GS1				
GS1 DataBar	] 彼ら	0	y	79
GS1 DataBar Limited	] 彼ら		{	7B
GS1 DataBar Expanded	] 彼ら		}	7D
GS1-128	]C1		I	49
2 of 5				
China Post (Hong Kong 2 of 5)	]X0		Q	51
Interleaved 2 of 5	] 私は	0, 1, 3	e	65
Matrix 2 of 5	]X0		m	6D
NEC 2 of 5	]X0		Y	59
Straight 2 of 5 IATA	] うーん	0, 1, 3	f	66
Straight 2 of 5 Industrial	]S0		f	66
MSI	] うーん	0, 1	g	67
Telepen	]Bm		t	74
UPC		0, 1, 2, 3, 8, 9, A, B, C		
UPC-A	]E0		c	63
UPC-A with Add-On	]E3		c	63
UPC-A with Extended Coupon Code	]E3		c	63
UPC-E	]E0		E	45
UPC-E with Add-On	]E3		E	45
UPC-E1	]X0		E	45
Add Newtologic Code ID				5C80
Add AIM Code ID				5C81
Add Backslash				5C5C
Batch Mode			5	35
Quantity				

5.2 QRコードシステム

Symbology	AIM		Newtologic	
	ID	可能な修飾子 (m)	ID	Hex
All Symbologies				99
Aztec Code	] zm	0-9, A-C	z	7A
Chinese Sensible Code (Han Xin Code)	]X0		H	48
Codablock A	]O6	0, 1, 4, 5, 6	V	56
Codablock F	] ああ	0, 1, 4, 5, 6	q	71
Code 49	]Tm	0, 1, 2, 4	l	6C
Data Matrix	]dm	0-6	w	77
GS1	] 彼ら	0-3	y	79
GS1 Composite	] 彼ら	0-3	y	79
GS1DataBar Omnidirectional	] 彼ら	0-3	y	79
MaxiCode	] えーっと	0-3	x	78
PDF417	] うーん	0-2	r	72
MicroPDF417	] うーん	0-5	R	52
QR Code	]Qm	0-6	s	73
Micro QR	]Qm		s	73

5.3 郵便番号

Symbology	AIM		Newtologic	
	ID	可能な修飾子 (m)	ID	Hex
All Symbologies				99
Australian Post	]X0		A	41
British Post	]X0		B	42
Canadian Post	]X0		C	43
China Post	]X0		Q	51
InfoMail	]X0		,	2c
Intelligent Mail Bar Code	]X0		M	4D
Japanese Post	]X0		J	4A
KIX (Netherlands) Post	]X0		K	4B
Korea Post	]X0		?	3F
Planet Code	]X0		L	4C
Postal-4i	]X0		N	4E
Postnet	]X0		P	50

5.4 ASCII 変換表

16 進数	10 進数	キャラクター
00	0	NUL (ヌル文字)
01	1	SOH (ヘッダーの開始)
02	2	STX (テキストの開始)
03	3	ETX (テキストの終わり)
04	4	EOT (送信終了)

次のページに続く

表 2 - 前のページからの続き

16 進数	10 進数	キャラクター
05	5	ENQ (お問い合わせ)
06	6	ACK (確認応答)
07	7	BEL (ベル)
08	8	BS (バックスペース)
09	9	HT (水平 Tab)
0a	10	LF (改行)
0b	11	VT (垂直 Tab)
0c	12	FF (フォームフィード)
0d	13	CR (キャリッジリターン)
0e	14	SO (シフトアウト)
0f	15	SI (シフトイン)
10	16	DLE (データリンクエスケープ)
11	17	DC1 (XON) (デバイス制御 1)
12	18	DC2 (デバイス制御 2)
13	19	DC3 (XOFF) (デバイス制御 3)
14	20	DC4 (デバイス制御 4)
15	21	NAK (否定応答)
16	22	SYN (同期アイドル)
17	23	ETB (送信ブロックの終了)
18	24	CAN (キャンセル)
19	25	EM (メディアの終わり)
1a	26	SUB (サブ)
1b	27	ESC (エスケープ)
1c	28	FS (ファイルセパレータ)
1d	29	GS (グループセパレーター)
1e	30	RS (送信要求)
1f	31	US (単位区切り記号)
20	32	SP (スペース)
21	33	! (感嘆符)
22	34	" (二重引用符)
23	35	# (Number Sign)
24	36	\$ (ドル記号)
25	37	% (パーセント)
26	38	& (アンパサンド)
27	39	` (一重引用符)
28	40	((右/右括弧)
29	41	) (右/右括弧)
2a	42	* (アスタリスク)
2b	43	+ (プラス)
2c	44	, (カンマ)
2d	45	- (Minus / Dash)
2e	46	。(ドット)
2f	47	/(フォワードスラッシュ)
30	48	0
31	49	1
32	50	2

次のページに続く

表 2 - 前のページからの続き

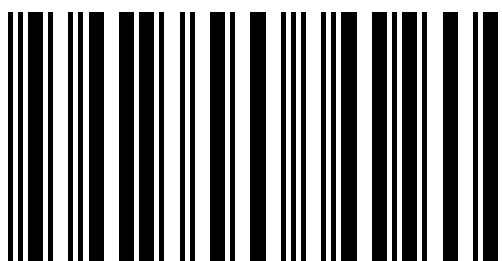
16 進数	10 進数	キャラクター
33	51	3
34	52	4
35	53	5
36	54	6
37	55	7
38	56	8
39	57	9
3a	58	: (結腸)
3b	59	; (セミコロン)
3c	60	< (未満)
3d	61	= (等号)
3e	62	> (Greater Than)
3f	63	? (疑問符)
40	64	@ (AT 記号)
41	65	A
42	66	B
43	67	C
44	68	D
45	69	E
46	70	F
47	71	G
48	72	H
49	73	I
4a	74	J
4b	75	K
4c	76	L
4d	77	M
4e	78	N
4f	79	O
50	80	P
51	81	Q
52	82	R
53	83	S
54	84	T
55	85	U
56	86	V
57	87	W
58	88	X
59	89	Y
5a	90	Z
5b	91	[(左/開き括弧)
5c	92	\ (バックスラッシュ)
5d	93	] (右/閉じ括弧)
5e	94	^ (キャレット/サーカムフレックス)
5f	95	_ (アンダースコア)
60	96	' (グレイブアクセント)
61	97	a

次のページに続く

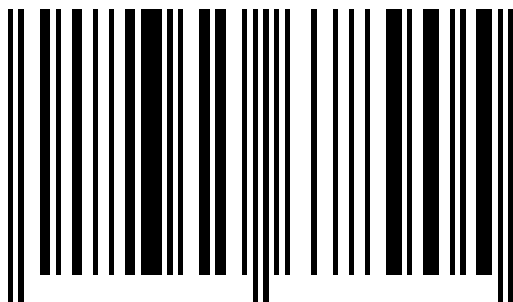
表 2 - 前のページからの続き

16 進数	10 進数	キャラクター
62	98	b
63	99	c
64	100	d
65	101	e
66	102	f
67	103	g
68	104	h
69	105	i
6a	106	j
6b	107	k
6c	108	l
6d	109	m
6e	110	n
6f	111	o
70	112	p
71	113	q
72	114	r
73	115	s
74	116	t
75	117	u
76	118	v
77	119	w
78	120	x
79	121	y
7a	122	z
7b	123	{ (左/左中括弧)
7c	124	(縦棒)
7d	125	} (右/右中括弧)
7e	126	~ (チルダ)
7f	127	DEL (削除)

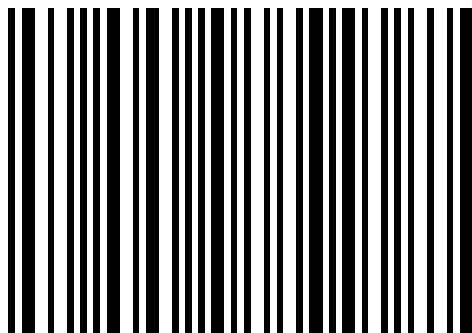
5.5 バーコードの例



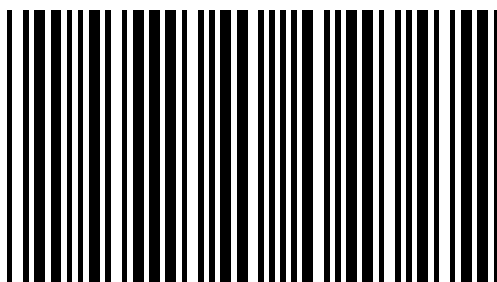
コンテンツ例: 1234567890



コンテンツ例: 0012345678905



コンテンツ例: A13579B



コンテンツ例: BC321



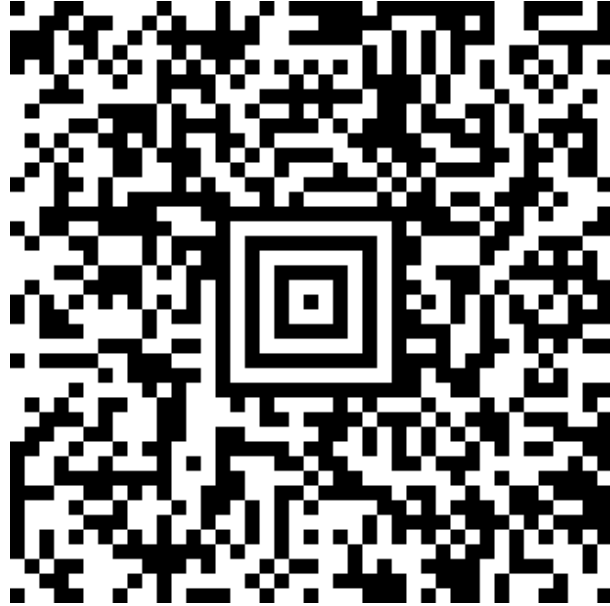
コンテンツ例: 9780330290951



コンテンツ例: Code 128



コンテンツ例: 123456-9\$



コンテンツ例: Package #98765-43210<CR><LF>Ship To:<CR><LF>Jane Doe<CR><LF>123 Main
Street<CR><LF>Anywhere, NY 12345<SUB>



コンテンツ例: 01234567

Matrix 2 of 5

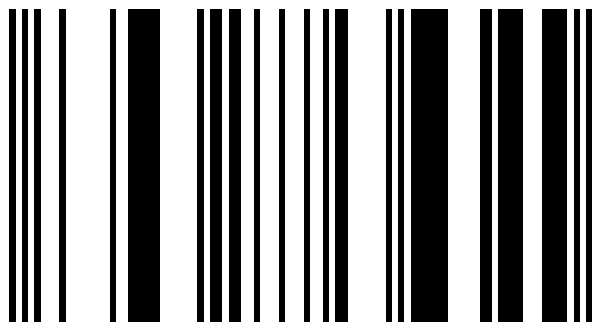


バーコードのサンプル画像

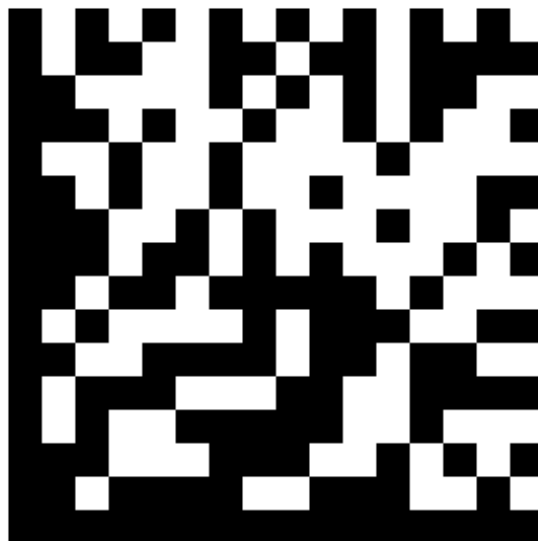
Straight 2 of 5 Industrial



バーコードのサンプル画像



コンテンツ例: (01)00123456789012



コンテンツ例: Test Symbol

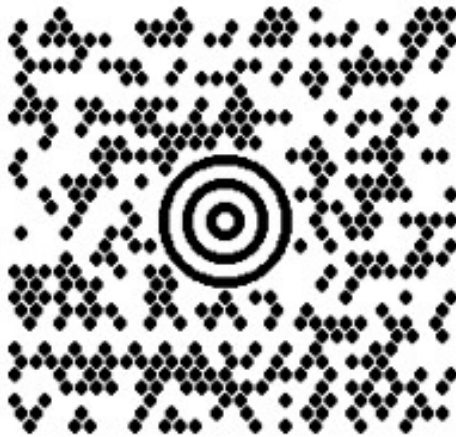
Micro PDF417



Test Message

バーコードのサンプル画像

MaxiCode



Test Message

バーコードのサンプル画像



コンテンツ例: 1998 Chev Blazer<CR>123437486089J672<CR>Reg PAN 123 ABC Dec 1999

5.6 付録チャート



0



1



2



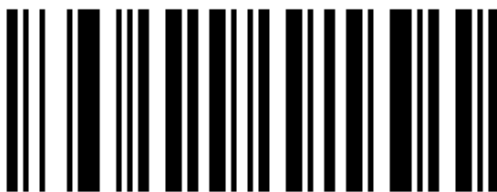
3



4



5



6



7



8



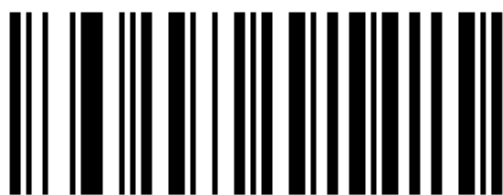
9



A



B



C



D



E



F



保存



あきらめる

文字または数字のスキャン中に (「保存」バーコードをスキャンする前に) エラーが発生した場合は、「破棄」バーコードをスキャンし、正しい文字または数字を再スキャンしてから、「保存」バーコードをスキャンします。

5.7 キーボード操作 ASCII 変換

16 進数	10 進数	CTRL+X	説明する
00	0	CTRL+@	
01	1	CTRL+A	すべて選択
02	2	CTRL+B	大胆な
03	3	CTRL+C	コピー
04	4	CTRL+D	フォント形式
05	5	CTRL+E	中央揃え
06	6	CTRL+F	探す
07	7	CTRL+G	位置
08	8	CTRL+H	交換する
09	9	CTRL+I	イタリック体
0a	10	CTRL+J	正当化する
0b	11	CTRL+K	ハイパーリンク
0c	12	CTRL+L	左揃え
0d	13	CTRL+M	左インデント
0e	14	CTRL+N	新しい
0f	15	CTRL+O	開ける
10	16	CTRL+P	印刷する
11	17	CTRL+Q	
12	18	CTRL+R	右揃え
13	19	CTRL+S	保存
14	20	CTRL+T	1 行目のインデント
15	21	CTRL+U	下線 F12
16	22	CTRL+V	ペースト F1
17	23	CTRL+W	書き込みディスクが閉じられました F2
18	24	CTRL+X	カット F3
19	25	CTRL+Y	繰り返す F4
1a	26	CTRL+Z	キャンセル F5
1b	27	CTRL+[	F6
1c	28	CTRL+\	F7
1d	29	CTRL+]	F8
1e	30	CTRL+^	F9
1f	31	CTRL+-	F10
7f	32	CTRL+	